

胃癌腹膜播種に対する CT Radiomics を用いた新規診断システムの開発 と妥当性検証

1. 研究の対象

- ・初発胃癌に対して当院で審査腹腔鏡検査を予定されている。または 2004 年 12 月～所属機関の長の研究実施許可日に当院で既に検査がお済みの方。
- ・組織学的に腺癌の診断がついている。
- ・手術前に当院にて造影 CT 検査(撮影範囲：肝臓～骨盤底、撮影条件：門脈相/1mm スライス)を実施している。
- ・登録日の年齢が 18 歳以上である。

2. 研究の概要

研究期間: 所属機関の長の研究実施許可日～2029 年 12 月 31 日

研究目的:

あなたが受けた CT 検査の画像をラジオミクス(人間の目では判断仕切れない膨大な画像情報をコンピューターで分析する手法)で詳しく分析し、腹膜播種の診断ツールを新しく開発することです。この新しい診断ツールが実用化できれば、侵襲的で負担の大きい審査腹腔鏡検査を受けることなく、より正確に腹膜播種の有無を診断できるようになると考えています。

研究方法:

大阪国際がんセンター(当院)で胃癌の治療を受ける方の術前造影 CT 検査の画像データを、大阪大学および大阪国際がんセンターの共同で開発した独自の画像分析ソフトウェアを用いて分析します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、カルテ番号、CT 画像 等

4. 外部への試料・情報の提供

画像解析は独自のソフトウェアがインストールされたコンピューター(大阪国際がんセンター及び大阪大学に配置)で実施されるため、画像データの一部は大阪大学へ提供される可能性があります。データ提供を行う場合は、個人を識別できる情報は削除の上、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

主たる研究機関及び研究代表者

大阪国際がんセンター 消化器外科 山本慧

共同研究機関及び研究責任者

大阪国際がんセンター 消化器外科 山本慧

大阪大学大学院医学系研究科 人工知能画像診断学共同研究講座 堀雅敏

大阪国際がんセンター 放射線診断・IVR 科 矢野圭悟

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

大阪国際がんセンター 消化器外科 山本慧

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

研究責任者：大阪国際がんセンター 消化器外科 山本慧

-----以上